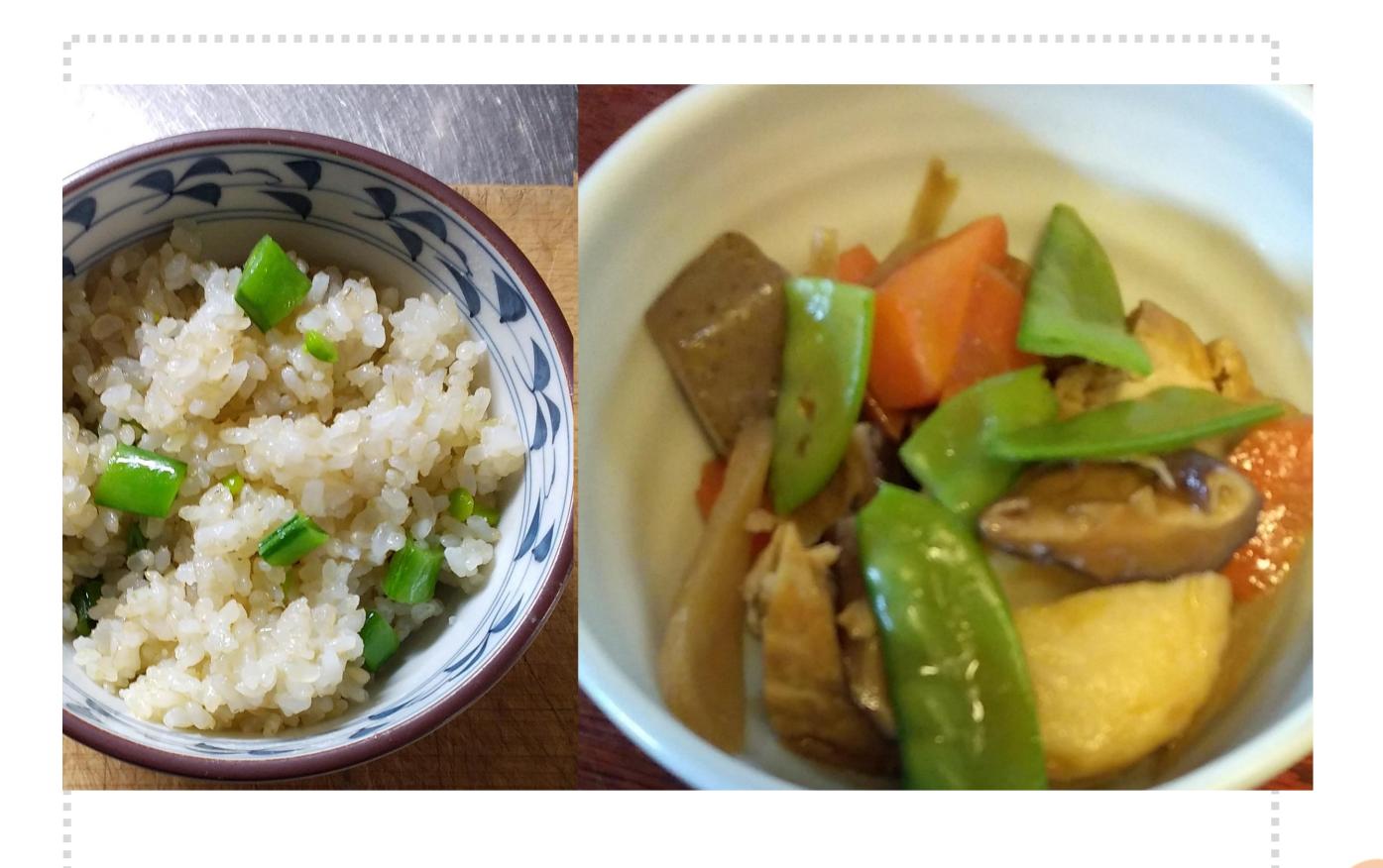
第12回日本腎栄養代謝研究会しシピコンテスト

部門①保存期

低たんぱく主食食品を美味しく食べるレシピ

動たん比60%

低たん白玄米のバターごはんとおとうふあげの筑前煮



材料・作り方

材料

【低たん白玄米のバターご飯】

食材1 五行元米150g食材2 無塩バター10g食材3 サヤエンドウ10g

[おとうふあげの筑前煮]

食材1 おとうふあげ	55g
食材2 ニンジン	20g
食材3 サトイモ	20g
食材4シイタケ(戻し)	20g
食材5 サヤエンドウ	1 Og
食材6 ゴボウ	20g
食材7 コンニャク	20g
食材8米糠油	3g
食材9 醤油	3g
食材10砂糖	5g

栄養成分(1人分あたり)

・エネルギー: 641 (kcal)

氏名: 谷中 えみ

所属:在宅管理栄養士

たんぱく質: 10.6 (g)

カリウム: 152 (mg)

・ リン: 70 (mg)

• 食 塩 : 1.6 (g)

作業時間 25 (分)

価格(1食あたり) 650 (円)

作り方

【低たん白玄米のバターご飯】

五行元米パックの上にバターとさやえんどうを散らし、電子レンジで2分間加熱する。

[おとうふあげの筑前煮]

熱が均一に通りやすくするためニンジン等はラン切り、ゴボウはささがきにきる。無水鍋に油をいれて数分炒め、砂糖、醤油で味を調え、弱火にして調味料が行き届くようにゆすり15分-20分ほど様子を見ながら煮る。おとうふあげはPALシステムの製品で鱈と豆腐の団子状の冷凍食品。

アピールポイント

五行元米は食物繊維、アオリザノール、抗酸化能などの玄米の機能性成分はのこし、熱量を保ちながらたん白質は10分の1、カリウム・リンも低くしたカリウム・リンも低くしたりはでタンパク尿を減らしたがある世界で唯一の腸腎連関を正す食品です。なによりおいしいのが特徴です。

